



お問い合わせ先

製品カスタマーサポート: **03-6206-0059**

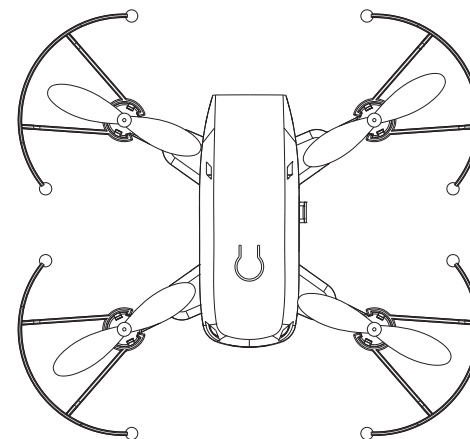
電話受付: 月曜日～金曜日(祝日・夏期休暇・年末年始を除く)

受付時間: 10:30～12:00, 13:30～16:30

(弊社での修理・調整は行っておりません。予めご了承ください)

※取扱説明書の内容は、製品の仕様変更などで予告なく変更される場合があります。

※最新情報は弊社WEBサイト(www.gforce-hobby.jp)でご確認ください。



2.4GHz 4CH Radio Control Altitude Hold Foldable Drone

MOOVA

自動高度維持機能搭載 Wi-Fi カメラ内蔵フォルダブルドローン ●ムーヴァ

1. 安全上のご注意

1. 安全上のご注意	02
2. 【重要】LiPoバッテリーについて	03
3. 付属品一覧	04
4. 送信機各部名称	04
5. 送信機を準備する	05
6. 本体のバッテリーを充電する	05
7. プロペラガードの取付け	06
8. フライトを始める(バインド)	06
9. フライト方法	07
10. トリムの調整	08
11. ジャイロリセット	08
12. 3Dフリップ	09
13. スピードの変更	09
14. オリエンテーションモードとリターンモード	10
15. プロペラの交換方法	10
16. スマートフォンとの接続	11
17. スマートフォンホルダーの取付け	12
18. アプリ画面の説明	13
19. アプリでの機体操作(タッチ/チルト)	14
20. アプリでの機体操作(トラッキングフライト)	15
21. パーツリスト	15
22. 製品サポートについて	16
23. FAQ(よくある質問)	17

1. 安全上のご注意

必ずお守り下さい



警告

保護者の方へ

当製品は小さな部品があります。誤飲・窒息の危険がありますので、3歳未満のお子様に触れないよう御注意下さい。



注意

ここに記載されている注意事項は、製品を安全にお使い頂き、損害や危害を未然に防ぐ為のものです。必ず守って下さい。

- 本製品は14歳以上対象です。対象年齢未満のお様がいらっしゃる場所で使用しないで下さい。また、お子様の手が届く場所には保管しないで下さい。
- 当製品は屋内でのフライトを推奨します。屋外では風の影響によりフライトできない恐れがあります。
- フライトはラジコン製品で遊ぶことが許可されている場所で行って下さい。高圧線・公共施設・空港・道路・線路の近くや、回りに人がいる場所、建物がある場所で絶対にフライトさせないで下さい。
- プロペラは高速回転しますので大変危険です。飛行中は人に当たらないよう十分注意して飛行させて下さい。特に目に当たると失明の恐れがあります。
- 水や火の近く、高温多湿の場所で使用したり、充電・保管はしないで下さい。
- 遊ぶ前に必ず各ビスの緩み、パーツ破損・脱落がないか点検して下さい。点検を怠ると最悪の場合、飛行中に部品が飛び大変危険です。フライト後も必ず部品に破損や脱落が無いか確認して下さい。
- フライト後は速やかに本体の電源をお切り下さい。
- 送信機に使用する乾電池はアルカリ電池のみ使用して下さい。それ以外の充電式電池やマンガン電池は使用しないで下さい。電圧が異なる為、意図せぬ動作の恐れがあります。
- 乾電池は新旧、状態の異なる電池を混ぜて使用しないで下さい。
- 乾電池の極性(プラス、マイナス)を正しくセットして下さい。
- しばらく遊ばない時は乾電池を外して保管して下さい。
- 万一、乾電池から液が漏れ、目に入った場合は大量の水で洗い、医師に相談して下さい。衣服、皮ふに付いたときは水で洗って下さい。
- 当製品は生産工場にて動作確認を行っておりますが、ご購入後の動作確認で問題が認められる場合は無理に使用せず、販売店様または弊社カスタマーサポートへ御相談下さい。
- 当製品(機体本体・送信機・充電器)を改造しないで下さい。また、純正パーツ以外の使用は思わぬ事故に繋がる恐れがある為お止め下さい。
- 当製品付属の送受信機は2.4GHz帯を使用しています。ご家庭の無線LANやワイヤレス機器と干渉する恐れがあります。飛行させる際は電波の影響がない場所でお楽しみ下さい。
- 当製品を高温となる自動車内や直射日光が当たる場所に放置しないで下さい。
- 当製品は精密機器です。水に濡らしたり湿気が多い場所での保管はしないで下さい。
- ローター(プロペラ)には向きがあります。交換する際は説明書を参照して正しく取り付けて下さい。正しく取り付けないと正常に飛行できません。

2.【重要】LiPoバッテリーについて



当製品が採用しているLiPoバッテリーは小型で高性能ですが、取扱いを誤ると大変危険です。火災や重大な事故を引き起こす恐れがあります。当説明書を良くお読み頂き、正しい知識を得た上で慎重にお取り扱い頂きますようお願いいたします。

1. 取扱上の重要事項

- 充電の際はその場を離れず、過充電の火災に備えて消火器等を備えて下さい。
- 充電は必ず付属の専用充電器のみをご使用下さい。
- 当製品にのみ使用して下さい。それ以外の用途には使わないで下さい。
- 変形や臭い、変色等の異常がある場合は使用しないで下さい。
- 電池は絶対に分解・改造しないで下さい。
- バッテリーを過放電状態にしてしまった場合は製品が使用できなくなります。放電し過ぎないようにご注意下さい。また、軽い過放電を繰り返した場合もバッテリーが次第に傷んでいき、充電・放電時間が極端に短くなり、使用できなくなります。
- LiPoバッテリーは消耗品です。劣化による交換・返品は致しかねます。

2. 充電時の注意

- 充電中は目を離さず、異常事態が起きた場合は速やかにUSBケーブルを外して充電を中止して下さい。
- 万一充電中にバッテリーが膨れ始めたらバッテリーが異常に過熱している恐れがあります。絶対にバッテリーに触れず、USBケーブルを外して充電を中止して下さい。充電し続けると破裂する恐れがあります。USBケーブルを外して充電器にバッテリーを差し込んだまま安全な場所で様子を見て下さい。
- LiPoバッテリーにはメモリ効果がない為、放電無しで追加充電が可能です。
- 充電完了後は充電器の赤LEDが消灯します。充電後は速やかに充電ケーブルを抜いて下さい。USB充電器に差したまま放置すると過放電となり、バッテリーが使用できなくなる恐れがあります。

3. フライト中の注意

- 墜落・衝突などした際、バッテリーが強い衝撃を受けると膨張したり発火する恐れがあります。可燃物を避けた場所でしばらく放置して、安全であることを確認して下さい。

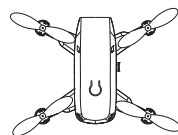
4. 電池を保管・保存する場合の注意

- LiPoバッテリーの保管可能温度は-10～45℃前後です。性能の劣化を防ぐには25℃前後が最適です。
- 自動車内や室内の窓際など、直射日光の当たるところに放置するとバッテリーが高温となり、自然発火する恐れがあります。そのような場所での保管はお止め下さい。
- 2週間以上使用せずに保管する場合は満充電後2分程度フライトさせ、バッテリー容量が50～70%程度になってから保管するようにして下さい。

5. フライト終了後の注意

- フライト終了後は必ず機体と送信機両方の電源を切り、機体からバッテリーを抜いて下さい。
- 長期間使用しない場合は、送信機から乾電池を抜き、機体のバッテリーは満充電後1～2分程フライトさせ、ある程度減った状態で保管して下さい。

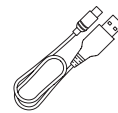
3. 付属品一覧



① MOOVA本体



② 送信機



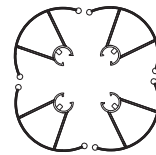
③ USB充電ケーブル



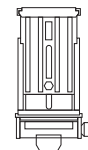
④ 取扱説明書



⑤ 予備プロペラ4枚

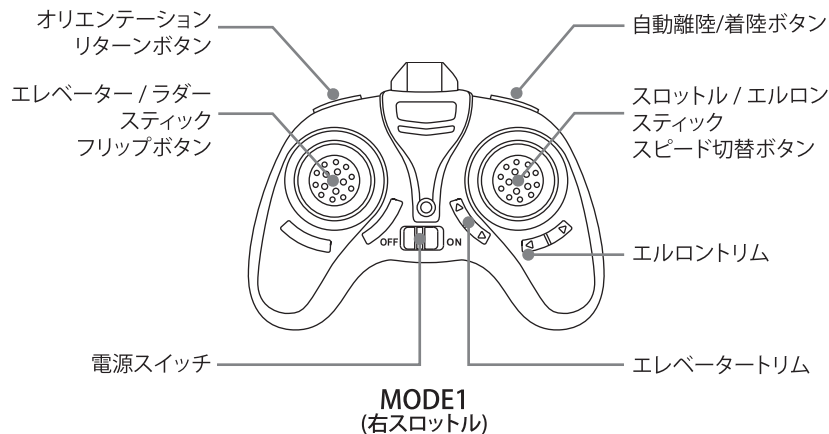


⑥ プロペラガード4個



⑦ スマートフォンホルダー

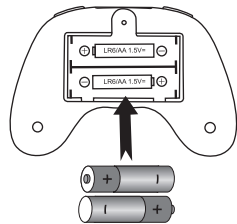
4. 送信機各部名称



5. 送信機を準備する

送信機は単三乾電池2本(別売)が必要です。下記に従い正しくセットして下さい。

- 1) 乾電池カバーを開けます
- 2) 単三乾電池2本を + / - の極性を合わせて入れます
- 3) 乾電池カバーを元の通り戻します



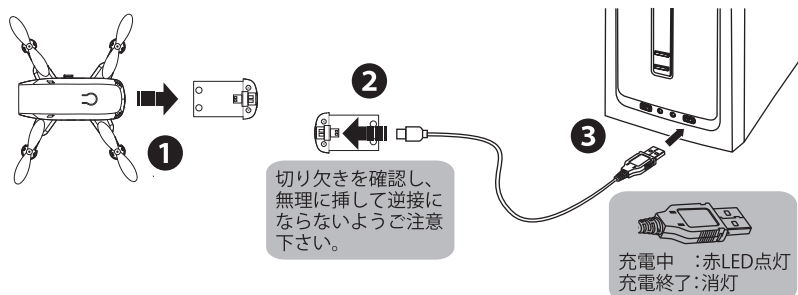
【注意】

1. 乾電池はアルカリ乾電池をご使用下さい
2. 新旧、状態の異なる電池を混ぜないで下さい

6. 本体のバッテリーを充電する

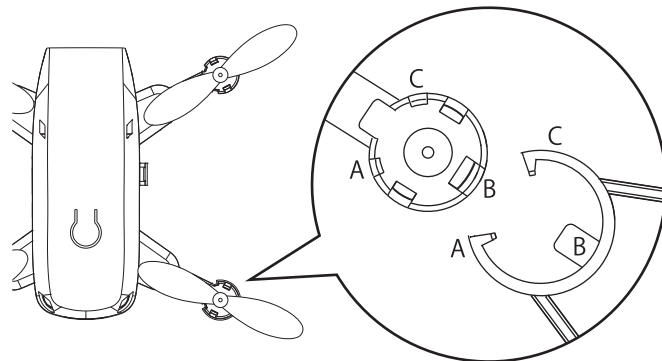
使用する前は必ず充電して下さい。
充電せずにフライトすると過放電状態となり充電することが出来なくなります。
また、リチウムポリマー電池は、使い方を誤ると、膨張、破裂または発火する可能性があります。以下の説明と、P3の「【重要】LiPoバッテリーについて」を守り、正しくお使い下さい。

- 1) ドローン本体からバッテリーを抜きます。
- 2) バッテリーのコネクタにUSB充電ケーブルを挿します。
- 3) USB充電ケーブルのUSB端子をUSBポートへ挿します。
充電中は充電ケーブルの内部が赤く点灯、満充電になると消灯します。
- 4) 充電後は速やかにバッテリーとUSB充電ケーブルを外して下さい。



7. プロペラガードの取付け

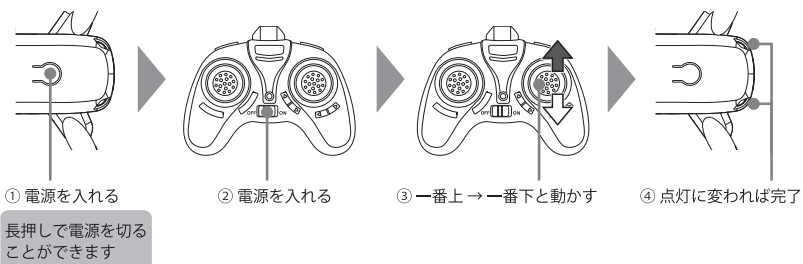
下図を参照し、プロペラガードの3箇所(爪)を、本体モーター部の穴に差し込んで下さい。



8. フライトをはじめる(バインド)

電源を入れる毎に以下の操作を行って下さい。

- 1) 機体の電源を入れ、水平な場所に置いて下さい
※手に持ったままや、傾いている場所には置かないで下さい
- 2) 送信機の電源を入れます
- 3) スロットルスティックを一番上 → 一番下と動かします。
- 4) 機体の赤 LED が点滅から点灯に変われば準備完了です。



9. フライト方法

【自動離陸 / 自動着陸】

自動離陸:

準備が完了した状態で[自動離陸/着陸ボタン]を押すとプロペラが回転し、ある程度の高さまで上昇します。

自動着陸:

空中で[自動離陸/着陸ボタン]を押します。徐々に降下してきますので、舵を切りながら任意の場所に誘導して下さい。接地後、プロペラが完全に停止するまでは目を離さないで下さい。降下中にスロットルを操作すると自動着陸をキャンセルできます。

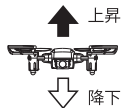
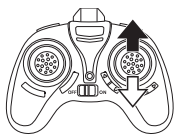
【手動離陸 / 着陸】

左図のようにスティックを同時に保持するとモーターが回転しアイドリング状態となります。アイドリング後はスロットル操作で上昇・下降を行います。着陸後は、モーターの回転が完全に止まるまでスロットルを一番下に下げた状態を保持して下さい。



【機体の操作方法】

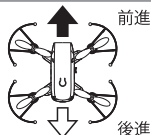
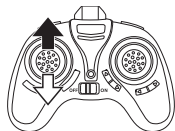
スロットル操作
【上昇・降下】



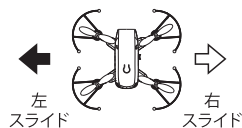
ラダー操作
【左・右旋回】



エレベーター操作
【前進・後進】



エルロン操作
【左・右スライド】



07

10. トリムの調整

トリム調整とは、機体上空でスティック操作をしていない状態で発生する前後左右の移動を微調整できる機能です。

トリム調整は機体がフライトして50cm以上の高さにある状態で行って下さい。

それ以下の高度や地上では、ドローンが出す風で気流が不安定なので調整することができません。

トリム調整時の重要な注意点	機体が前進または後進してしまう 	移動する方向と反対に数回動かして調整します。
50cm以上の高さ	機体が左右に移動してしまう 	移動する方向と反対に数回動かして調整します。

※ トリムボタンを押して一段低い音が鳴るところが中立(初期値)です。

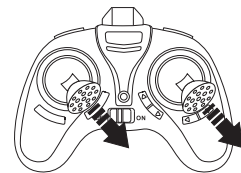
※ トリムの設定は電源を切る度リセットされます。

※ 機体のLEDが点滅したらバッテリーが少なくなっていることのサインです。
すぐにフライトは終了し、充電を行って下さい

11. ジャイロリセット

フライト中に前後左右に機体の流れ、トリムでも改善できない場合はジャイロリセットを行う事で改善できる場合があります。

- 1) 機体をフライトできる状態にして水平な場所に置きます
- 2) 左スティックを右下、右スティックを右下で保持します
- 3) 機体のLEDが点滅したらスティックから指を離します
機体のLEDが点灯に変われば完了です



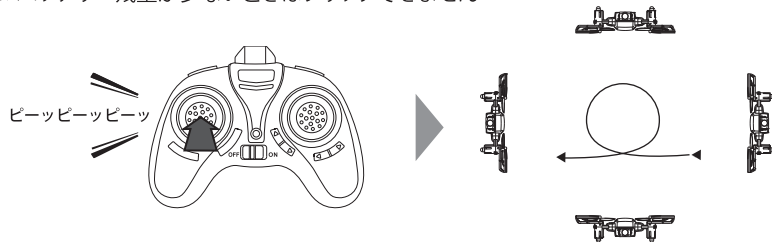
08

12. 3Dフリップ

フライト中に[フリップボタン]を押すことで、宙返りが可能なフリップモードになります。

- 1) フリップボタンを押すと「ピーッピーッ…」と断続したアラーム音が鳴ります
- 2) この間に前進/後進、または左右移動を行うと自動的に宙返りを行います

※ アラーム音が鳴っている時に再度フリップボタンを押すとキャンセルすることが出来ます
※ バッテリー残量が少ないときはフリップできません



13. スピードの変更

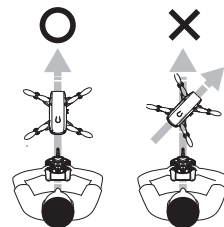
[スピード切替ボタン]を押すとフライトスピードを変更することができます。通常より機敏な動きができるようになりますが、操縦難易度が上がります。こちらは十分に練習を行ってからお試しください。



14. オリエンテーションモードとリターンモード

オリエンテーションモード:

機体を飛べる状態にした後、地上で、機体と送信機が同じ方向を向き、一直線に並んだ状態で[オリエンテーションボタン]を押して下さい。機体のLEDが点滅になれば有効になっています。再度オリエンテーションボタンを押すとキャンセルできます。オリエンテーションモード中は機首がどこを向いてもエルロンスティックを左右に動かすと機体は左右に、エレベータースティックを前後に動かすと機体は前後に動くようになります。

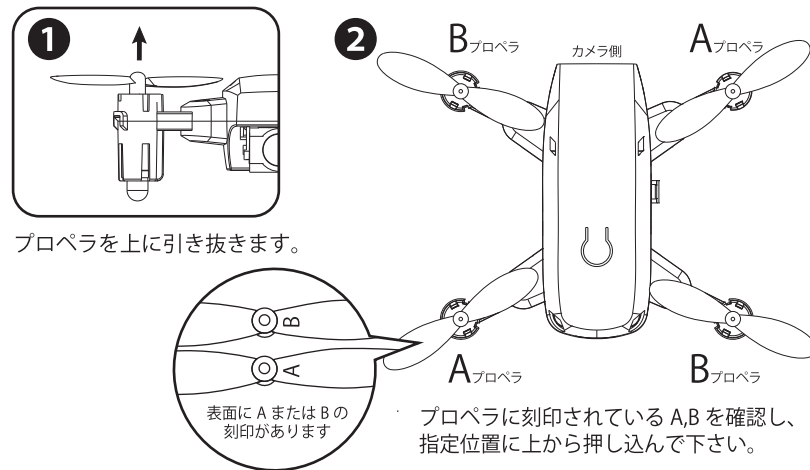


リターンモード:

オリエンテーションが正しく機能した状態でオリエンテーションボタンを長押しすると、機体が操縦者の方向に戻ってくるリターンモードになります。リターン中に舵を操作するとキャンセルできます。

15. プロペラの交換方法

プロペラには向きがあります。下図の手順で正しくプロペラを取り付けて下さい。



16. スマートフォンとの接続

本製品には、タブレットやスマートフォンと連携できるWi-Fiカメラを搭載しています。
以下の手順でモバイル機器と接続することで、リアルタイムの映像を見たり、写真や動画を撮影できるようになります。

1 アプリのインストール

お手持ちのスマホに専用アプリ「MOOVA Wi-Fi」をインストールします。
下記のQRコードから、もしくはAppStore、GooglePlayから「MOOVA Wi-Fi」を検索しダウンロードとインストールを行って下さい。

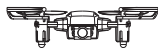


MOOVA Wi-Fi
iOS : 8.0以降
Android : 4.0.3以上



2 Wi-Fi接続


- 1) P6「フライトを始める」を参照し、機体がフライトできる状態にします。
- 2) 使用するスマートフォンのWi-Fi設定に入ります。
- 3) 新しく検出したアクセスポイント [MOOVA- ランダム文字列] をタップして下さい。



※ iOS 機器の画面例です
※ 接続時にエラーが表示される場合は、エラーの内容をもとに端末の Wi-Fi 設定を見直し、改善しない場合は各メーカーへご確認下さい

11

3 アプリの起動

- 1) インストールした [MOOVA Wi-Fi] アプリを起動します。
- 2) 初期画面の  をタップします。
- 3) 操作画面に映像が出てくれば接続は完了です。(出てくるまで数秒かかる場合があります)



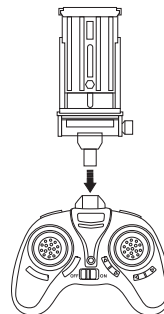
初期画面
(デザインはバージョンにより変更される可能性があります)



操作画面

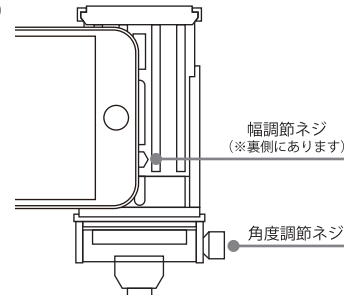
17. スマートフォンホルダーの取付け

1



カチッと音がするまで差込みます。

2



幅調節ネジ
(※裏側にあります)

角度調節ネジ

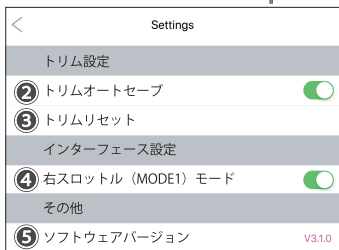
スマートフォンを幅調節ネジと角度調節ネジでしっかりと固定して下さい。

スマートフォン取付けの際は、毎回ホルダー各部に異常がないか、しっかりと装着されているかなど確認を行ってからご使用下さい。
本製品の使用によって生じるいかなる損失、損害に関して弊社は一切責任を負いません。

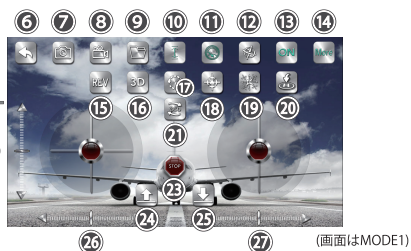
12

18. アプリ画面の説明

※ デザイン、機能はバージョンにより変更される可能性があります



- ① 簡易ヘルプ
- ② トリム自動保存のON/OFF
- ③ トリムを初期値(中立)に戻します
- ④ 操作パネルをMODE1に変更します
- ⑤ アプリのバージョン
- ⑥ 前の画面に戻る
- ⑦ 写真撮影
タップすると静止画が撮影できます。
- ⑧ 動画撮影
タップで録画開始、もう一度タップすると録画が終了し保存されます。
- ⑨ 撮影データ閲覧
- ⑩ 高度維持機能のON/OFF
スマホ操作を行う場合はタッチして緑色の状態にして下さい。
- ⑪ スピードの変更
スマホ操作の場合の操作感度。
- ⑫ チルト操作モード
スマホを傾けて操作するモードにします。
- ⑬ 操作パネルの表示/非表示



- ⑭ 追加メニュー (⑮～⑳) の表示 / 非表示
- ⑮ 映像の上下反転
- ⑯ 使用しません
- ⑰ トラッキングフライトモード
飛行ルートを画面に描くモードにします。
- ⑱ ジャイロリセット
機体が覚えている水平をリセットします。水平な場所においてタップして下さい。
- ⑲ オリエンテーションモード
機首の向きに関係なく前後左右が固定された状態になります。有効にする際は地面で停止している時に行ってください。
- ⑳ リターンモード
オリエンテーションが正しく機能した状態でタップすると、機体が操縦者の方向に戻ってきます。
- ㉑ 3Dフリップ
- ㉒ エレベータートリム
- ㉓ 緊急停止
スマホ操作の場合にのみ動作します。危険を感じたらすぐにタップしてモーターの回転を止めて下さい。
- ㉔ 自動離陸
- ㉕ 自動着陸
空中でタップすると自動着陸を行います。徐々に降下してきますので、舵を切りながら任意の場所に誘導して下さい。
- ㉖ ラダートリム
- ㉗ エルロントリム

13

19. アプリでの機体操作 (タッチ / チルト)

【準備】

1. 機体の電源を入れ水平な場所に置きます。(送信機の電源は入れません)
2. P11を参照し、スマートフォンと接続を行って下さい。
3. アプリを起動し、操作パネルアイコンと高度維持アイコン (P13.⑩と⑬) をタップします。
4. 本体のLEDが点滅から点灯に変われば準備完了です。

【タッチ操作方法】

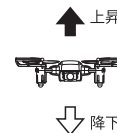
基本的には送信機を用いた操作方法と同じです。
自動離陸 (P13.㉔) で離陸後、サークル内にある赤丸を送信機スティックの先端に見立て操作して下さい。

【チルト操作方法】

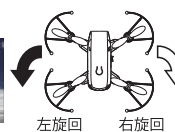
スマホを水平に持ち、チルト操作モード (P13.⑫) を有効にします。自動離陸 (P13.㉔) で離陸後、前進後進、左右スライド、この2つの動きがスマートフォンの傾ぎと連動します。上昇下降、左右旋回、この2つは操作パネルのタッチ操作で行って下さい。

(画面はMODE1)

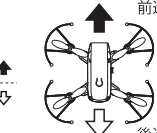
スロットル
【上昇・降下】



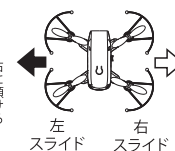
ラダー
【左・右旋回】



エレベーター
【前進・後進】



エルロン
【左・右スライド】



14

20. アプリでの機体操作 (トラッキングフライト)

⚠ 本機能は広い空間を必要とします。本機能を使われる場合は、まず短い線などを描き、描いた量に対して機体がどのくらい動くか把握されてからお試し願います。

【準備】

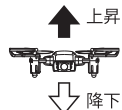
1. 機体の電源を入れ水平な場所に置きます。(送信機の電源は入れません)
2. P11を参照し、スマートフォンと接続を行って下さい。
3. アプリを起動し、操作パネルアイコンと高度維持アイコン(P13.⑩と⑬)をタップします。
4. 本体のLEDが点滅から点灯に変われば準備完了です。

【操作方法】

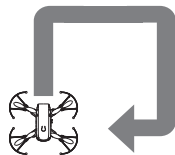
トラッキングフライトモード(P13.⑰)を有効にします。
自動離陸(P13.⑳)で離陸後、スロットルはサークルの赤丸で操作します。
反対の空いた部分に指でルートを描くことで、機体が描かれた通りに飛行します。

(画面はMODE1)

スロットル
【上昇・降下】



【図形例】



21. パーツリスト

パーツ名	品番
ボディセット(黒 MOOVA用)	GB452
ボディセット(白 MOOVA用)	GB453
プロペラガード(黒4個 白4個 MOOVA用)	GB454
受信機(MOOVA用)	GB455
モーターセット(4個 MOOVA用)	GB456
バッテリー(黒 3.7V 200mAh MOOVA用)	GB457
バッテリー(白 3.7V 200mAh MOOVA用)	GB458
USB充電器(MOOVA用)	GB459
プロペラセット(黒4枚 白4枚 MOOVA用)	GB460
カメラセット(MOOVA用)	GB461

22. 製品サポートについて

保証・修理規定

保証については、初期不良品のみ対応となります。
保証を受ける際には領収書、レシート、納品書など購入時期を証明するものがが必要です。
購入時期を証明できない場合には初期不良品としての対応は致しかねます。
初期不良品につきましてはお手数ではございますが、弊社へお送り頂く前に事前に電話にて弊社までご連絡頂けますようお願い致します。
ご使用後の製品の破損などによる修理依頼は新品への有償交換とさせていただきます。
※税抜定価の60% (送料込・代引手数料別)
初期不良交換、修理有償交換ともに付属品等を完備のうえでお送り下さい。
欠品があった場合、交換対応をお断りさせていただくことがあります。
ご不明な点は弊社カスタマーサポートまでお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先

製品カスタマーサポート: 03-6206-0059
電話受付: 月曜日～金曜日 (祝日・夏期休暇・年末年始を除く)
受付時間: 10:30～12:00, 13:30～16:30
(弊社での修理・調整は行っておりません。予めご了承下さい)

輸入販売元: 株式会社ジーフォース
〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1-3-1 VORT神田9階

23. FAQ (よくある質問)

- Q1 機体に LiPo バッテリーをつないでも反応しない。
A1. 機体にバッテリーが正しく接続されているか確認します。
A2. LiPo バッテリーは正しく充電されていますか?他のバッテリーでお試ください。
A3. 機体についている ON/OFF スイッチが ON になっているか確認してください。
- Q2 機体が墜落・接触などによって反応しなくなった。
A1. 一旦機体からバッテリーを外し、再度バッテリーをつなぎ直してみてください。
A2. 機体の受信機は精密機器ですので、強い衝撃を受けると破損する場合があります。
- Q3 今までは問題なくフライトできていたが、突然不安定になった。
A1. LiPo バッテリーが劣化してくるとフライト時間が極端に短くなったり不安定な挙動になる場合があります。バッテリーを交換してみてください。
A2. ローターに変形や破損がないか確認します。
A3. 取扱説明書 P8 の [ジャイロリセット] を行ってみてください。
- Q4 フライト中、振動してしまう。
A1. ボディ・ローターに破損や変形があると振動に繋がります。破損・変形がある場合は対象部位を交換してください。
- Q5 ローターを換えたら離陸できなくなった。
A1. ローターの向きを正しく取り付けないとフライトできません。ローターの取付位置に誤りがないか、取扱説明書 P10 の [プロペラの交換方法] でご確認ください。
- Q6 1 つだけモーターが回らなくなってしまった。
A1. モーターはフライトごとに劣化していきますので、交換が必要になります。モーターの回転方向に注意し、モーターを交換してください。
- Q7 他の送信機で飛ばすことはできますか?
A1. 当製品の送信機は専用品ですので、他の送信機は使用できません。
- Q8 機体は単体で購入できますか?
A1. 現在のところ機体単体での発売はございません。
- Q9 オリエンテーションモードがうまく動作しないようですが・・・
A1. オリエンテーションモードに移行する場合は、機首が前方を向いた状態で行ってください。

MEMO
